



題字は松井岳洋筆

No. 431
平成 27 年 12 月

発行
(公社) 日本詩吟学院 認可

碩心会
発行者 上村岳章
編集者 伊藤岳光
神奈川県三浦郡葉山町堀内 1285
Tel/Fax.046-875-3397
URL http://sekishin.holy.jp

碩心会と私

審査業務部長 小野 岳祥



審査業務部の小野岳祥です。『石の上にも三年』と云いますが詩吟を始め、30年を過ぎたのに向うに上達の気配なし。たと

えが違ふと云われるかも知れませんが、数々の習い事の一つとして、誘われ勧められるまま入会した私は3年位経てば・・・と思っていました。碩心会と云う名前も知らず入会し、旅行好きの優しい先生と明るい仲間と、只云われるままに大きな声を出し詩吟を楽しんでいました。

先生が替わってから碩心会が会員500人以上の伝統ある会であること、東京に本部があり全国に何万人もの吟友がいる組織であることを度々聞かされ驚きました。その先生方もお亡くなりになり、何となく役員になっていた上に、教場まで引き継ぐ立場になってしまったのですが、後悔先に立たず、吟力が急に上がるわけはなく私は私でしかないのです。努力が足りないとの声が聞こえそうですが、会長・顧問の先生

方の吟に対する熱意と怠りない努力、碩心会を愛する気持ちには頭の下がる思いです。

記憶力が衰え、反応も鈍くなりつつある私ですが、碩心会の一員としてできる範囲で協力し再来年の80周年を皆様と心より喜びたいと考える今日この頃です。会員一人一人の力が、愛が碩心会の原動力になるはずですよ。

上村会長詩吟の魅力語る

去る10月27日(火)、湘南ビーチFMに出演、パーソナリティの森川いつみさんが詩吟についていろいろ質問し、上村会長がそれに答えるトーク形式で進められた。

今秋開催の逗子と葉山の詩吟詩舞連盟発表会について「逗子では詩吟に詩舞、書道、華道を組み入れ、目でも楽しめるように構成されています。葉山では各教場ごとに『構成吟』を企画し、今年の大河ドラマ『花燃ゆ』、『源平哀史』、『良寛と一茶』等々楽しんで頂けると思っています」『詩吟体験教室』にも触れ「月一回新しい方を対象に良く知られている漢詩、和歌を中心に会員の方と一緒に詩吟を体験して頂いていま

す」
詩吟については「美しい日本語で腹から声を出し作者の思いを吟ずる事は健康にも良い」碩心会は2年後に創立80周年記念大会を行なう予定、200名を超えた会員で開催できるように会員の皆さんと共に頑張ります」と語った。
伊藤岳光

平成27年度功労者表彰

去る10月18日(日)熊本市民会館で開催された「第126回全国吟道大会」に於いて左記の方々が表彰されました。

- 功労者の部 伊藤岳光
- ボランティアの部 菊池岳悠
- 寿九十歳の部 佐久間岳爽 福本岳香 田中容風

行事予定

- 碩心会初吟会
日時 1月31日(日)開会10時15分
場所 葉山町福祉文化会館
- 碩心会春季審査会
日時 3月19日(土)
場所 葉山町福祉文化会館
- 第4回尚歯会全国吟道大会
日時 3月24日(木)
場所 日本教育会館一ツ橋ホール

30周年鎌倉吟舞連大会

10月11日(日) 鎌倉芸術館小ホールにおいて
標記大会が開催されました。

式典では鎌倉市長から、鎌倉は古来多くの文
化人に愛され活動が行われています。皆様も日
本の伝統文化である詩吟を継承発展させて次代
に繋げて頂きたいとの話がありました。

午後から構成吟『日本列島北から南へ伝統芸
能をたずねて』と題して日本各地の代表的な詩
吟・詩舞58題が披露され、佳香会も大活躍でし
た。加えて鎌倉市近傍の素人5団体によるソー
ラン節、江戸カッポレ等の素晴らしい舞踊等が
行われ、特に阿波踊りは本年関東地区大会で優
秀賞を獲得した若い男女がハッピー及び編笠浴衣
姿で踊る姿は圧巻でした。

次いで各会長詩舞・各会長吟詠と続き盛会裏
に終了しました。

高見湘岳



阿波踊り



津軽三味線

審査会を終えて

酔吟支部 森 晶風

審査会を終え、師匠より合格の知らせを受け
ました。今は言い様のない安堵感の中にいます。
当日は、もう9回目の審査会でしたのにいま
まで一番緊張している自分に驚きました。でも
番号を呼ばれ審査をしてくださる先生方の前に
立つてしまえば、後は自分で何とかするしかあ
りません。

よく『練習は嘘をつかない』と言いますが、
本当にそのとおりです。酔吟支部は比較的吟歴
の近い者の集まりです。吟歴の一番若い私は常
に一、二段上の先輩方の吟を聴いて審査課題に
取り組めます。いつの間にか師匠の吟と共に、
先輩方のそれも耳の奥に残っています。行谷先
生は囁んで含めるように教えてくださいます
し、少しでも出来ていると認めてくださったり、
同じところを何回も何回もやり直させたり、
緩急自在です。先生の吟と自分の吟のどこが違
うのかは頭で分かります。でもその違いを自分
の声で表現することはなんと難しいことか。分
かるて出来るとの違いは大きく厳しいものでし
た。こうした日々を重ねて迎えた審査会なので
す。今まで審査会で味わう緊張感や不安感を嫌
だなあと思っていました。でもハードルがある
ことが、詩吟を続けるエネルギーになっ
ているのだと思えるようになりました。楽しさは少し
の厳しさや困難と共にあるのだと、審査会を終
えた今、改めて感じております。

昇伝段位認許

(平成27年10月1日付)

少年1名	146 吉田朋之進 (少二級)		
初段8名	177 山崎清治	187 吉村英彦	188 吉田 健
	189 岩田維津子	191 遠藤千代	193 藤井チトセ
	194 後藤節子	195 増田悦子	
二段7名	179 作山ミツ	180 金子笑美子	181 雲居隆栄
	182 小林ふみ	183 清水淳子	184 北本綾子
三段5名	185 中谷恵子		
	166 佐々木康泉	167 上本里泉	168 三並蒼泉
	169 結城翔泉	170 岩田文泉	
四段6名	158 馬場奎泉	159 中島千泉	160 井上裕泉
	161 野村京泉	163 弦巻康泉	164 鈴木実泉
中伝1名	149 津呂知山		
五段4名	140 泉谷鐵山	141 加藤典山	142 田嶋明山
	143 亀井水山		
六段2名	135 野村耀山	136 神山功山	
奥伝4名	123 森 祐風	124 森 晶風	125 照沼夏風
	126 山下友風		
七段2名	114 植草眞風	115 一戸清風	
八段3名	102 吉田千風	103 田邊隨風	104 乗松力風

神静地区吟道講座に参加して

10月4日(日)三島市民文化会館に於いて地区吟道講座が開催された。「君が代」斉唱に続く「朗詠」は500名の吟声ホールを圧し、主催者が「61回を数える講座の意義を理解されるように」と挨拶されて開講。

第一講・和歌(講師 森脇岳茶先生・神奈川)

荒磯に波の寄るを見てよめる 源実朝

第二講・律詩(野田岳珠先生・大分)

鞏洛自り舟行して黄河に入る即時、府縣の僚友に寄す 韋應物

第三講・絶句(内山岳青先生・日本詩吟学院参与)

冬夜讀書 山田方谷

第四講・律詩(長尾岳鶯先生・岡山)

無題 五首 其の一 夏目漱石

第五講・律詩(天山岳荘先生・日本詩吟学院常務理事)

児島高德櫻樹に書するの圖に題す 齋藤監物 講義―先ず素読、吟法は吟詠の基本で揺るがせに出来ない、吟調は表現方法であるから詩歌の解釈を個性で詠ずることは出来る。作者や時代背景を知るとは詩文の理解と詩情表現に欠かせない、と各先生方が要点を講じられた。

第三講は内山先生(前碩心会々長)の担当、この日、碩心会から30余名が出席、先生の登壇に身を乗り出して聴く。軽妙な話術で笑いを誘いながらの吟詠指導、教室がホールであっても、いつもの雰囲気、吟は楽しむことも大切。

私は県を跨ぐ規模の受講は初めてで、今回の

参加で得たものを如何に吟力向上に繋げられるか、それが課題。 常盤仙山

新総伝を祝う会

瀨朗支部 田中岳景



初冬の中、新総伝を祝う会を開いて頂き有難うございました。長い年月と共に歩きました方々も辞め、私自身再度の入院で挫折を味わい、家族周囲の励ましに寄りかかりながら年を重ねて参りました。気が付きましたら総伝までやっと漕ぎ着き、御指導下さった先生方に感謝申し上げます。教本の漢詩、和歌の中に人生の在り方を教えらるる様です。これからも更に勉強を重ね人生の糧にしたいと思います。

渚支部 久永岳広



東京医科歯科大学附属歯科技工学校を出て、学校の紹介で最高裁判所人事局の診療室で技工師として勤務しておりました。その後、結婚を機に技工所を開き自由がきく様になり、知人の紹介で詩吟との出会いがありました。時を経て碩心会とのご縁があり現在に至っております。そして総伝まで頂きましたが、まだまだ未熟です。元来限り頑張つて行きたいと思えます。今後と

もよろしくお願い致します。

瀨朗支部 市原岳儀



この度、「新総伝を祝う会」を開いて頂きまして、誠にありがとうございました。一段、一段と昇って参りまして、ようやく総伝までたどり着きました。ここからは、ゆつくり、のんびり、楽しんで、吟と共に、過ごして参りたいと思います。年齢に負けずに、健康に気を付け、少しでも長く吟詠が出来れば、最高の人生だと思っています。今後ともよろしく申し上げます。

「惜別」生涯の友

真名瀬支部 鈴木岳賢

先般葉山岳壽さん永眠の際には、ご懇篤なるご弔意を頂き厚く御礼申し上げます。

人生は舞台のようなもの、突然終演してしまふなんて信じられませんでした。互いに「元気で心正しく前向きに先に進もう」といつも話してあつていました。最終の舞台は「総伝」、大きな賞を頂き立派に人生の幕を引いてくれました。今はただ30年間の良き思い出ばかりが脳裏をよぎつていきます。

真名瀬支部一同尚一層力を合わせ頑張つてゆきますので今後とも宜しくお願い致します。

神奈川岳風連合会吟詠大会

京急・横須賀中央駅の駅メロディは山口百恵の「これつきり坂」である。横須賀は坂の町であり、横須賀市文化会館も坂を上がり切らなければならぬ。

吟詠大会は開場の9時15分前から長蛇の列が連なり、大会役員、出吟者の自覚と誇り、意気込みが感じられた。参加者は大ホールの収容人員1216人に迫り、県内から集合した熱気が大会を盛り上げた。

上村岳章大会実行委員長の開会の辞に続き、神奈川誠吟会との女性合吟「菊花」は連吟コンクールの入賞に対する期待をもたせるものであった。

注目の連吟コンクールは48チームで競われ、碩心会は女性連吟「筑前城下の作」で挑んだ。甲乙付けがたい中、ここ数年覇を唱えてきた会が今回も入賞に輝いた。

男性合吟も神奈川誠吟会と合同で「事に感ず」を吟じ、詩舞吟での「櫻花を讃う」、構成吟「学びて時に之を習う」での「述懐」ではそれぞれ碩心会の存在感を示した。「広報」の腕章を巻き、「坂を上がりきる」ことの困難さを痛感した大会であった。

森 祐風

会員のうごき

- * 入会 (10月1日付)
 - 200 平泉 忠廣 (渚) 葉山町木古庭
紹介者 伊藤琴泉
 - 201 倉重 八千代 (滝の坂) 葉山町一色
紹介者 広報はやま
- * 入会 (11月1日付)
 - 202 日比 直廣 (笠風) 茅ヶ崎市小和田
紹介者 高見湘岳 (レッツ詩吟)
- * 支部長変更
 - 真名瀬支部 葉山岳壽 → 矢嶋敏風
- * 退会
 - 23 渡辺岳雲 (やよい) 55 葉山岳壽 (死亡)
 - 175 長谷川榮子 (松和)
- * 住所変更
 - 52 曾村静子 (紫陽花)
新住所: 葉山町堀内 848 セントラーレ新倉 103
 - 191 遠藤千代 (紫陽花)
新住所: 葉山町堀内 758-2 ハイッさんらく 202

第7回相州岳風連合吟詠大会

酔吟支部 大塚 洋風

11月22日(日) 標記の大会が葉山町福祉文化会館で開催された。当日は、曇り空で寒々しい朝でしたが、会館前には多くの方が集まり、開場と同時に受付には行列ができ、皆様の熱気は、寒さを吹き飛ばす勢いでした。

午前の部は、コンクールが年齢別に行われ、漢詩の部、和歌の部、連吟の部と参加者の日頃の練習の成果をいかんなく発揮し、その吟力は素晴らしいものでした。碩心会の吟力は、各部で発揮され、入賞者が生まれた。漢詩の部は、菊池君子さん、吉田信次さん、和歌の部は、中山辰矢さん、連吟の部は、今原幸子さん・常盤

正人さん・三並哲治さんと町田紀子さん・森田佑子さん・新井洋子さんでした。午後の部では、各関連団体(神奈川晴風会、神奈川誠吟会、翔風吟道会、碩心会)からの会員吟詠、詩舞、来賓・役員吟詠と4時過ぎまで充実した大会となりました。

私は、コンクールに参加の機会を得て、自らの吟力アップのため、漢詩の意味や味わい、言葉のアクセント、二句三息で吟じる呼吸法など勉強する良い機会を得ました。また、舞台上で吟じる難しさを実感し、今後の精進への良い機会を与えて頂いたと感謝しているところです。



編集後記

「碩心会ホームページリニューアルについて」のアンケート調査に貴重なご意見をお寄せ頂き有難うございました。

ホームページリニューアルのアンケート、スマホへの対応を始め、できるだけ反映させて行くように努めます。ご協力ありがとうございました。 広報部

27年11月現在会員数	
逗子地区	109名
葉山地区	75名
合計	184名